

下水道工事監督補助業務委託特記仕様書

第 1 章

1－1 用語の定義

- (1) 岡山市下水道河川局が委託する監督補助業務を以下「業務」という。
- (2) 発注者岡山市を以下「甲」という。
- (3) 受注者を以下「乙」という。
- (4) 乙が提出する現場責任者及び主任技術者を「業務履行者」という。
- (5) 業務において行われる調査・検証・視察等を「監督補助業務」という。
- (6) 業務において行われる協議・助言・報告・提言・通知等を「適切な措置」という。

1－2 業務期間

- (1) 業務期間は令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までとする。

第 2 章一般業務

2－1 通常業務

- (1) 乙は、業務の趣旨を適正に踏まえ、適切に遂行しなければならない。
- (2) 乙は、次に掲げる事項について必要な調査等を実施し、甲及び下水道工事の現場代理人に適切な措置を講じなければならない。
 - ア 甲に代わって工事の監督補助業務を行い、適切な措置を講じること。
 - イ 甲の指示があった時は、監督補助業務の一端として調査、測定の補助を行うこと。
 - ウ 下水道工事請負契約の適正な履行を確保するため必要な監督補助業務を厳正に行うこと。
 - エ 甲の指示により下水道工事受注者への連絡若しくは通知を行う場合は、書面を使用するなどして、その内容を相手に正確に伝えること。
 - オ 下水道工事施工中の路面復旧跡の点検・報告を監督補助業務の内容として行うこと。
 - カ 地元住民より要望、苦情があった時は、直ちに甲に届けて指示を仰ぐこと。
 - キ 甲の要望があった場合は、業務に必要な調査時期をとること。
- (3) その他甲が指示すること。
 - ア 身分証明書を携帯しておくこと。

2－2 設計図書等の理解

- (1) 業務履行者は、下水道工事請負契約書及び設計の内容を十分理解し、更に工事現場の状況についても精通しておかなければならない。

2－3 貸与図面等

- (1) 受注業務に必要な設計図書及び物品は貸与するものとする。業務履行者は、甲から

貸与をうけた図書及び物品について、適正な管理を行わなければならない。

2－4 業務日誌

- (1) 業務履行者は、別に定める様式により次に掲げる事項を記入をした業務日誌を作成し、原則、毎日甲に報告し、確認を得ること。
- ・その日に実施した監督補助業務及び適切な措置の内容および結果
 - ・その他必要事項

2－5 連絡

- (1) 業務履行者は、常に携帯電話を持つ等、業務の適切な履行ができるよう、お互いに連絡を密にすること。また、必要に応じて甲より連絡できるようにすること。

2－6 損害

- (1) 乙は、甲に適切な措置を講じることなく、又は指示に従わず下水道工事受注者、付近住民、関係者及び第三者に損害を与えた場合、乙の責任において、解決すること。

第3章 技術業務

3－1 立会、視察

- (1) 甲の指示により業務履行者は完成後外部から目視できない工種、又は工事写真等でその状況を把握することが充分にはできない工種について、現場に立会、視察し、当該設計図書との確認を図ること。又、これと適合しない場合は、速やかに甲に報告し、指示を仰がなければならない。

3－2 検測的作業

- (1) 甲の指示により、業務履行者は下水道工事の施工が設計図書に示す所定の品質及び適正な出来形を確保するため、現地で監督補助業務（検測的作業を含む）を行うこと。その結果、不適合又はその恐れがあると認められる場合は、速やかに甲に報告する等、適切な措置を講じなければならない。

3－3 品質管理

- (1) 甲の指示により、業務履行者は下水道工事受注者が仕様書に定められた品質管理を忠実に実行しているか確認し、その結果を甲に報告しなければならない。

3－4 検査の立会

- (1) 業務履行者は、甲が行う下水道工事に関する竣工検査及びその他必要な検査に甲から立会の要請があった場合は、これに従わなければならない。

3－5 事故報告

- (1) 業務履行者は、下水道工事中に事故が発生した場合は、速やかにその状況を把握し、

甲に報告しなければならない。

第4章 整備書類

4-1 業務内容の提出

(1) 乙は業務の完了に伴い、次の書類を提出しなければならない。

- ア 第2章に規定する監督補助業務、適切な措置、その他関連事項等
- イ 業務日誌（日毎の詳細な作業内容を記入したもの）
- ウ 担当現場毎の現場監督状況写真（月毎）
- エ その他整備書類

4-2 提出書類

(1) 乙は、甲の指示する別紙様式により、指定期日まで関係書類を提出しなければならない。

第5章

5-1 協議

(1) 本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めがない場合、甲、乙協議の上これを定める。